週刊 さんいん学聞（まなぶん） 第493号

抜き取ってお読みください

まなぶん1

紙面ガイド

まなぶん2
- おうちで英語
- ホントの恐竜
- 習ッチャオ！

まなぶん3
- 野菜ラボ
- ことばの宝物
- 社会保障

まなぶん4
- まなぶんクロス
- 投稿ひろば
- 小学生学力講座

能登半島地震の後にDMATという言葉をよく見聞きします。大きな災害や事故が起きたら、いち早くかけ付ける「災害派遣医療チーム」のことです。人々の命や健康を守る活動をしています。

人々の命と健康守る DMAT（ディーマット） 4人組の医療チーム

ニュース なぜなに？

石川県輪島市役所に置かれたDMATの対策本部の入り口＝1月

DMAT対策本部の中。避難所などからの情報を整理したり、支援する先や物資の調整をしたりした＝1月

DMATの仕組みは2005年に国がつくりました。ふだんは病院などで働く医師や看護師らが4人1チームで出動するのが基本で、全国の医療関係者約1万6600人（23年4月現在）が登録しています。

「仕組みができたころは『がれきの下の医療』というイメージが強かったようです」。DMATにくわしい帝京大病院の救急医、西竜一さんは、ふり返ります。ひどい現場で、けが人らを緊急にちりょうするのが、大きな役割だったからです。

その後の約20年間で「活動のはばが広がってきました」。豪雨や地震の被災地の他、新型コロナウイルスの感染が広がった高齢者施設などにも派遣されてきました。

厚生労働省DMAT事務局は「現場ごとに必要な支援も課題も異なっています。経験を重ねながら、活動内容やチームの研修の中身を見直してきました」といいます。

実際、能登半島地震では「被災地でいかに医療サービスを提供し続けるか」が、DMATの大きな役割になっています。役所や病院の対策本部に入り、どこでどんな支援が求められているか情報を整理。限られた医療関係者や物を効率的に割りふる調整も重要な仕事です。また避難所や高齢者らの施設を回り、体調をくずしがちな人へのケアにも力を入れています。

事務局は「人々の命だけでなく健康もどう守るか。被災地の医療体制が元通りになるよう支援し、地域の人たちにどう引きつぐか。活動が発展した分、新たな課題もあります」と話しています。

被災地や事故現場かけ付ける

災害派遣医療チーム（DMAT）
- 医師や看護師ら4人で1チームが基本
- 全国で約1万6600人が登録
- 豪雨や地震、感染症の現場などへ

→ 命と健康守る活動に

病院で訓練をするDMATの医師ら＝2023年10月、甲府市

自分で食事や寝床確保

DMATのメンバーが向かう先はたいてい、災害や事故の現場です。食べ物や着がえなど身の回りのことは全て自分で済ませ、活動するのが前提になっています。

能登半島地震の10日後。救急医の西さんは、チームのメンバーと石川県輪島市に向かいました。車に食料や簡易トイレ、寝袋などを用意。電気や水道が止まった地域で、5泊6日の活動を予定していたからです。

「食事は毎日カップめん。スープを捨てる場所もなかったので、無理して飲みました」。最初の夜は停電した空港のゆかで横になったものの「あまりに寒くてすぐ寝付けず余震で目覚めました」。他の被災地でも活動してきた西さんにとっても、厳しい現場でした。

まなぶんクイズ

（8日付紙面から出題）

工事を終えて新しくなった、さんびる文化センタープラバホール（松江市西津田6丁目）で、記念セレモニーがありました。工事の間、合わせて分解修理され、音色の種類も増えたプラバホールの楽器は何でしょうか？

①グランドピアノ　②コントラバス
③パイプオルガン

（クイズの答えは まなぶん4面）

NEWS アラカルト

国際

台湾で3日朝、東部沖を震源とする大きな地震がありました。9日までに、落石やたおれた建物によって13人が死亡し、負傷者は約1100人に上りました。1999年に台湾中部で起きた地震以来の大地震で、余震も数百回に上ります。

東部・花蓮県の有名観光地「太魯閣国立公園」では道路が寸断され、最大で約700人が孤立しました。7日、東海岸につながる道路が開通して大勢の人が脱出。巨大な岩にはばまれながら行方不明者の捜索が行われました。

震度6強とゆれが大きかった花蓮では、複数の建物がたおれました。くずれたビルに住んでいた呉声輝さん（65）は「地面にたたきつけられるようなゆれで1階の食堂がつぶれた。2階の窓からにげた」と話しました。

日本の気象庁によると、3日は沖縄県与那国島でも震度4のゆれと津波を観測しました。

台湾で大地震 死傷者多数

観光地の「太魯閣国立公園」に続く道に残る地震による落石＝5日、台湾東部・花蓮（共同）

科学

ほとんどの植物は太陽の光を浴びて栄養を作り出す「光合成」をしますが、光合成をせずに土の中のとても小さな生き物の栄養をもらって育つ植物もあります。そんな変わった性質がある上、これまで知られていなかった新しい植物が、鹿児島県で見つかりました。

大部分が土にうまり、火をともしたろうそくをのせる「しょく台」という道具に形が似ているため、地中にすむムジナ（アナグマ）にちなんで「ムジナノショクダイ」と名付けられました。

高さは約3㌢、花の大きさは約1.5㌢。でこぼこした根っこなどが特色です。ほかの植物とちがう点が多いため、新しいグループの植物として記録されました。

植物好きな人が2022年に見つけました。知らせを受けた研究者は「数が少なそうなので保護する必要がある」と話しています。

鹿児島で新植物 光合成をしないムジナノショクダイ

ムジナノショクダイ（鹿児島大学の田金秀一郎准教授撮影）

政治

自民党は4日、国会議員がつくる集団「派閥」が政治活動で使うお金の流れをきちんと報告しなかった事件で、関係した39人の議員を処分しました。派閥の一つ「安倍派」の衆院、参院のリーダーだった2人に自民党の所属から外れるように告げるなど、厳しい処分になりました。

他にも安倍派などの中心的なメンバーが自民党には残れるものの、党内での活動が当分の間できなくなります。自民党がこれだけ多くの議員を一度に処分した例は過去にほとんどありません。

今回の事件では、派閥が開いた政治資金パーティーの収入と支出が法律に基づく形では公表されていませんでした。見えないお金となったので、「裏金」と呼ばれました。

自民党のトップの岸田文雄首相は「今後は二度とこうしたことが起きないよう党の改革を進める」と話しました。

自民党が「裏金」で39人処分

自民党の党紀委員会で関係議員の処分が決まり、記者団の取材に応じる岸田文雄首相＝4日、首相官邸

© 梶原一騎・辻なおき／かみやたかひろ

動じない姿

フィギュアスケート女子の坂本花織選手が、3月にカナダ・モントリオールで行われた世界選手権で3連覇を果たしたよ。女子の3連覇は56年ぶり。フリーで1位となり、ショートプログラムの4位から逆転したんだ。

「少し焦ったけど、いい緊張感の中で一つ一つ集中してできた」と坂本選手。逆境に立たされても動じない姿は、本当にかっこいいね。

山陰中央新報製作センター見学施設

しんぶん学聞館

山陰中央新報社の見学施設「しんぶん学聞館」（出雲市斐川町上庄原）は、展示コーナーや設備の見学を通して、紙面作りや印刷の仕組みを学ぶことができます。

山陰中央新報を印刷している「山陰中央新報製作センター」に併設され、大型ディスプレーで映像を見られる視聴覚ホール、過去の大きなニュースを伝えた紙面をはじめとした各種展示コーナーなどがあります。月曜日から金曜日まで（祝日を除く）見学を受け付けています。

重要ニュース紙面展示コーナー

山陰中央新報や前身の新聞は、140年以上にわたって国内外のさまざまな出来事を報じてきました。竹下登首相の誕生、くにびき国体、山陰地方を襲った災害などを伝えた紙面を展示しています。

カラー印刷の輪転機模型

カラー印刷の仕組みを輪転機の模型で解説します。模型は高さ1・8㍍で、4色を印刷するローラーが上下に並んでいます。ローラーの回転に合わせて紙が動き、4色を重ねて印刷する仕組みを理解してもらいます。

主な展示・設備

1階 あの日あのとき「メモリー」ゾーン
- 創刊号パネル
- 記念日新聞コーナー
- 重要ニュース紙面
- 活字など印刷資料
- 巻き取り紙
- 多目的ホール
- 活版印刷機

2階 すごいぞ新聞「なるほど」ゾーン
- さんさんホール（188インチディスプレー設置）
- 組版体験コーナー
- 輪転機模型
- インキ

見学について

時間　月～金曜日（祝日除く）午前10時～午後2時半
人数　1日2団体まで　1回の来館者は40人まで
内容　館内見学、新聞教室
予約　電話で受け付け（平日午前9時～午後5時）

予約、問い合わせ先
山陰中央新報製作センター
（出雲市斐川町上庄原1318）
電話 0853(73)9331